

# 釧新郷土芸術賞に輝く

## 受賞者の横顔

Ⓣ



江差追分会 師匠

これからも民謡の普及に努めていきたいと話す片桐さん

## 民謡

### 片桐ルミ子さん(73)＝釧路市

第36回江差追分全国大会(1998年)で優勝したほか、後進の指導育成に努めるなど、民謡界の発展に尽力してきた。釧路市で生まれ育ち、夫の転勤に伴って訪れた小樽で本格的に江差追分を学び始めた。それ以後、江差追分に夢中になり、「いいだけ勉強してきたので、これが最後」との思いで臨んだ18回目の挑戦で栄冠を手にした。

「当時は日本一になりたいという夢に向かって歌っていた」と振り返りながら、「江差追分は奥が深く、これでいいということがないので、死ぬまで勉強だと思っている」という。90年に民謡桐生会を立ち上げ、当初は江差追分を中心に指導していた。現在は市内をはじめ厚岸や中標津の9カ所で江差追分や一般民謡の指導に当たっている。

このうち民謡文化の種をまこうと始めた市内の武佐児童センターでは、小学1～3年生になじみやすい歌詞の歌を選んで教えている。特に釧路の名物などが歌詞に盛り込まれた新釧路音頭が大受けで、子どもたちは歌いながら踊っているといい、「釧路の歌として大きく育ってほしい」と願っている。

「民謡というと年寄りのイメージだが、民謡文化を広めていくためにも、一人でも多くの若い人に歌ってほしいので、これからも民謡の普及に努めていきたい」と話している。

(黒田文夫)

# 江差追分で全国優勝